

播磨看護専門学校卒業時就職状況及び進学状況(1期生から38期生)

1

Response	Count	Percentage
社会に貢献していると感じる	706人	63.7%
社会に貢献していないと感じる	261人	23.4%
わからない	14人	1.2%
Total	981人	83.7%

■圏域内公的病院・北播磨総合医療センターの看護師数に対する播磨看護専門学校卒業生数

R元 6. 30現在

	正職		嘱託		パート		全体	
	全体	播看(%)	全体	播看(%)	全体	播看(%)	全体	播看(%)
市立西脇病院	276	114(41.3)	3	0	29	13(44.8)	308	127(41.2)
市立加西病院	186	81(43.5)	0	0	26	3(11.5)	212	84(39.6)
加東市民病院	79	57(72.2)	1	0	17	8(47.1)	97	66(68.0)
多可日赤病院	67	17(25.4)	3	1(33.3)	8	2(25.0)	78	20(25.6)
北播磨総合医療センター	524	72(13.7)	0	0	73	7(9.6)	597	79(13.2)
総合計	1,132	341(30.1)	7	1(14.3)	153	33(21.6)	1,292	376(29.1)

■平成31年度入試 出願者における年齢別、居住地別の集計

年 齢 別	出願者数(人)
20歳未満	58
20歳～24歳	10
25歳～29歳	7
30歳～	12
計	87

居住地別	出願者数(人)	人	割合(%)
西脇市	18	52	59.9
加西市	10		
加東市	13		
多可町	11		
三木市	2	5	5.7
小野市	3		
県内(北播磨圏域外)	27	27	31.0
県外	3	3	3.4
計	87	87	100

■ 関西国際大学看護学科在校生の出身地状況 (平成31年4月現在)

	出身地域	在校生数(人)	割合(%)
北播磨圏域	三木市	45	36.6
	小野市	29	
	西脇市	17	
	加西市	26	
	加東市	15	
北播磨圏域を除く兵庫県内	神戸市	95	50.4
	明石市	15	
	加古川市	14	
	西宮市	9	
	高砂市	8	
	三田市	7	
	姫路市	7	
	その他	27	
県外		47	13.0
計		361	100

■ 関西国際大学卒業生における北播磨圏域病院への就職状況

医療機関名	所在地	H29.3月卒	H30.3月卒	H31.3月卒	計
北播磨総合医療センター	小野市	15	18	16	49
大村病院	三木市	2	2	2	6
西脇市立西脇病院	西脇市	0	1	2	3
みきやまりハビリテーション病院	三木市	0	0	1	1
小野病院	小野市	0	0	1	1
服部病院	三木市	0	0	2	2
緑駿病院	小野市	0	0	1	1
計		17	21	25	63

■ 関西国際大学卒業生における地域別就職状況 ※進学者等を除く

地域別	H29.3月卒	H30.3月卒	H31.3月卒	計
北播磨圏域	17(19%)	21(25%)	25(30%)	63(25%)
その他の兵庫県内	54(59%)	41(50%)	34(42%)	129(50%)
県外	20(22%)	21(25%)	23(28%)	64(25%)
計	91(100%)	83(100%)	82(100%)	256(100%)

兵庫県保健医療計画

2018(平成30)年4月

兵庫県

北播磨圏域

1 地域の特徴

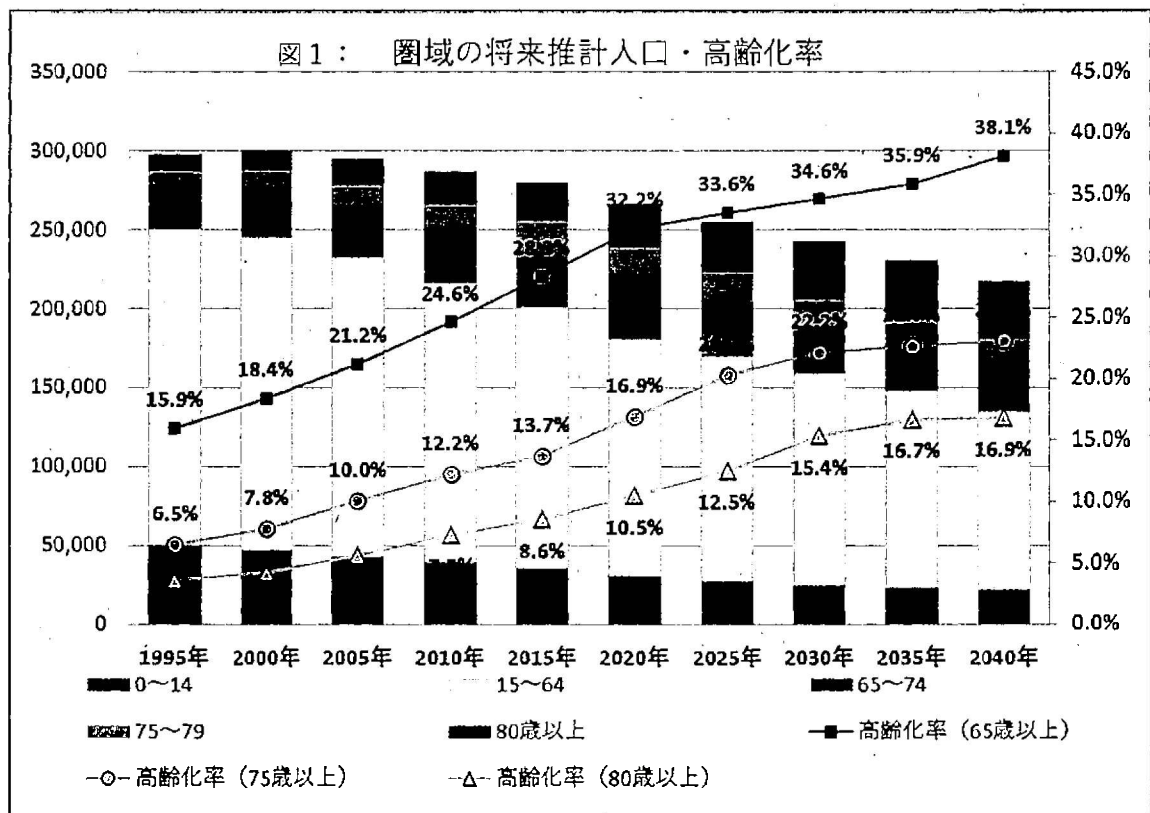
本圏域は、5市1町(西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町)で構成され、県のほぼ中央に位置しており、総面積は 895.61k m²で、県土の 10.7%を占めている。平成 27 年の国勢調査報告によると、本圏域の総人口は 272,447 人であり、減少傾向である。

また、高齢化率は年々高くなってきており、出生数は減少傾向であり、死亡数は増加傾向である。

県下最大の河川「加古川」が、地域の中央部を貫流し、流域には平野が広がっている一方で、北部においては中山間地域が多く広がっている。交通網については、国道 175 号が地域の中央部を南北に貫通しており、中国自動車道と山陽自動車道で東西と連絡している。

2 人口及び人口動態

(1) 人口



資料：国立社会保障・人口問題研究所データー作成

3 医療資源の状況

(1) 医療機関

【病院、病床数の現状】：表3

(平成29年4月1日現在)

	病院数 (ヶ所)	精神 (床)	結核 (床)	感染症 (床)	療養 (床)	一般 (床)	計 (床)
北播磨圏域	22	(847) 847	(0) 0	(6) 6	(979) 979	(2,626) 2,626	(4,458) 4,458
医療圏域基準病床数(床)					3,335		
人口10万対病床数		314.0	0.0	2.2	362.9	973.5	
10万対病床数県平均		205.9	2.7	1.0	261.3	697.6	

(注) 1 人口10万対病床数は次の方法により算出した。

病床数×100,000

県統計課が発行した「兵庫県推計人口」の医療圏域内人口(平成29年4月1日現在)

2 医療圏域基準病床数は、平成29年4月改定時で記載した。

3 病院数、病床数は、開設許可済の数を記載し、使用許可済の病床数を()内書きした。

【診療所、薬局の現状】：表4

(ヶ所) (平成29年3月末現在)

市町	有床	無床	計	歯科	薬局	備考
西脇市	4	33	37	17	25	
三木市	1	60	61	47	35	
小野市	6	34	40	24	24	
加西市	0	28	28	21	25	休止中 無床 1
加東市	0	34	34	20	15	休止中 無床 1
多可町	0	14	14	8	12	
合計	11	203	214	137	136	

資料：健康福祉事務所調べ

(2) 医療従事者：表5

	医師数(人) (人口10万対)	歯科医師数(人) (人口10万対)	薬剤師数(人) (人口10万対)
全 国	319,480 (251.7)	104,533 (82.4)	301,323 (237.4)
兵庫県	13,979 (253.2)	3,907 (70.8)	14,616 (264.8)
北播磨	609 (224.7)	171 (63.1)	572 (211.2)

資料：厚生労働省「平成28年医師、歯科医師、薬剤師調査」

	保健師数(人) (人口10万対)	助産師数(人) (人口10万対)	看護師数(人) (人口10万対)	准看護師数(人) (人口10万対)
兵庫県	1,679 (30.4)	1,446 (26.2)	50,916 (922.8)	11,016 (199.6)
北播磨	111 (41.0)	68 (25.1)	2,895 (1,068.9)	740 (273.2)

資料：兵庫県「平成28年看護師等業務従事者届の集計」

【平均在院日数】 : 表 8

	全病床	一般病床（再掲）	療養病床（再掲）
全 国	28.5 日	16.2 日	152.2 日
兵庫県	26.5 日	15.5 日	149.9 日
北播磨	37.8 日	22.2 日	181.5 日

資料：病院報告（厚生労働省）H28 二次医療圏域閲覧票

（4）他圏域・他府県との患者流動 : 表 9

	施設所在地									
	神 戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但 馬	丹 波	淡 路
北播磨 (患者住 所地)	7.0%	1.0%	1.7%	4.4%	83.1%	1.9%	0.3%	0.0%	0.7%	0.1%

資料：兵庫県患者調査（H29.3）

5 圏域の医療提供体制の構築

（1）圏域地域医療構想

ア 必要病床数推計 : 表 10

(床) (参 考)

	2017(平成 29)年 病床機能報告	2025(平成 37)年 推計ツール	差引	新公立病院改革プ ラン・公的医療機 関等 2025 プラン反 映後の病床機能数	基準病床数 (床)
高度急性期	56	234	△178	56	
急性期	1,661	988	673	1,542	
回復期	512	889	△377	567	
慢性期	1,402	1,257	145	1,402	
合計	3,631	3,368	263	3,567	
					3,335

イ 居宅等における医療需要の推計

（ア）総数（地域医療構想推計ツールによる） : 表 11

(人/日)

	2013 年	2025 年
総数 (自然増+新たに対応が必要な部分)	2,308	3,057

（イ）在宅医療の整備目標 : 表 12

(人/日)

	2020 年度末
在宅医療（訪問診療の実施数） ※ 介護サービス・介護施設需要との調整後の数	1236.1

ウ 地域医療構想実現のための課題と施策

(ア) 病床の機能分化・連携の推進

圏域の現状と課題	具体的施策
【医療提供体制】 2025 年推計によると、当圏域の医療需要は 86.5%であり、圏域北部では、隣接する丹波圏域から西脇市立西脇病院への患者の流入が若干ある一方、当圏域から神戸圏域や東播磨圏域の医療機関に対して、消化器系、呼吸器系の患者の流出が見られる。 当圏域には、22 の病院、214 の医科診療所、137 の歯科診療所があるが、2025 年の必要病床数推計と 2017 年の稼働病床を比較すると、急性期及び慢性期病床が過剰であり、高度急性期及び回復期病床が不足すると見込まれている。	○ 2025 年を見据えると、生活習慣病の増加や疾病構造の変化等により、急性期病床から回復期病床への移行については、これからも慎重に議論する必要がある。今後の経過により、病床機能の転換や回復期機能及び慢性期患者の受け皿となる在宅医療、施設等の充実が必要となった場合には、地域医療介護総合確保基金を活用し、円滑な移行を図る。 ○ 急性期から在宅医療まで一連のサービスを切れ目なく提供できるように、連携を推進するため、「北はりま絆ネット」を運用しており、今後も「北はりま絆ネット」の活用の促進及び安定的かつ継続的な運用が図れるよう、基盤整備を行う。
【救急医療体制】 小児救急医療体制については、公立病院や管内医療機関、医師会等が対応しているが、二次救急については、空白日はなくなったが、空白の時間帯（夜間）があり、一次救急についても、継続して空白日が生じているなど、小児科医の退職等により、小児救急医療体制の維持が難しくなっている。 また、当圏域では医療機関までの移動に車が必要であり、孫が発症しても親の帰宅を待つ祖父母も多いことから、圏域を越えて夜間の小児患者の入院や救急搬送が行われている場合がある。	○ 小児救急輪番制の維持及び拡大に向け、圏域内の公立・公的病院や小児科医療機関、関係行政機関等により、小児救急に関する役割分担や救急搬送を含めた救急医療体制のあり方について、検討する。 ○ 一次小児救急医療体制を強化するため、広域のこども急病センターの整備を検討する等、一次救急を集中させることで、二次救急を担う医療機関・小児科医の負担を軽減し、空白の生じない一次・二次救急体制の構築に努める。 ○ 医療機関への適正受診を推進するため、小児救急医療の知識の普及を図る。

(イ) 在宅医療の充実

圏域の現状と課題	具体的施策
【高齢化の状況】 管内の平成 30 年 2 月 1 日現在の高齢化率は 31.1%であり、2025 年の北播磨圏域の人口については、総数は減少するが、高齢者人口は若干の増加になる見込みである。 【在宅医療の状況】 当圏域の病院で、訪問診療を実施している病	○ 訪問診療を充実・強化するため、かかりつけ医の支援体制を確立するとともに、地域住民に対して、かかりつけ医を持つことの意義等、在宅医療についての理解の促進を図る。 ○ 病診連携を行う「北はりま絆ネット」や在宅医療・介護の多職種連携システム等、ICT の活用を図ることにより、病院から在宅への円滑な移行

院は7か所であり、診療所は59か所である。 在宅療養支援病院は4か所であり、在宅支援診療所は41か所である。訪問看護ステーションは24か所であり、そのうち機能強化型訪問看護ステーションは1ヶ所である。 訪問診療を行う診療所等を増やす必要があるが、集落が点在している当圏域では、かかりつけ医にとって大きな負担となっている。 また、圏域外に在住する医師も多く、夜間の対応が難しいことから、病院の平均在院日数も長くなる傾向がある。 在宅医療を定着させるためには、医療・介護資源の充実、医療と介護の連携強化や在宅医療に関する人材の確保・育成が求められている。	と医療と介護の連携強化を図り、充実した在宅医療の提供を目指す。 ○医療従事者及び福祉、介護人材の確保に努めるとともに、在宅医療に関わる多職種の医療福祉従事者に対する専門研修の充実を図り、在宅医療に積極的に取り組む人材の育成を促進する。 ○北播磨圏域内での連携強化と円滑な入退院支援を目指して作成した「北播磨圏域要介護者における入退院支援の手引き」の活用を図り、入退院時における医療と介護の円滑な連携を促進する。 ○医師会、病院、在宅医療実施医療機関、居宅介護支援事業所、学識経験者、関係行政機関等により、当圏域での訪問診療に関する効率的な実施方法や支援体制のあり方等について検討していく。 ○住み慣れた自宅や介護施設等、本人が望む場所での看取りを行うことができるよう、支援体制を整備するとともに、在宅看取りに関わる医療福祉従事者の研修の充実を図るまた、地域住民に対して、在宅の看取りについて理解の促進を図る。
--	---

(ウ) 医療従事者の確保

圏域の現状と課題	具体的施策
○当圏域においては、西脇市立西脇病院に県養成医師が派遣されているが、市立加西病院、多可赤十字病院、兵庫あおの病院において、常勤医師の不足により、当直医の確保や救急の受け入れが難しくなっている。 ○「平成28年医師、歯科医師、薬剤師調査」によると、当圏域の医師数は、609人で、人口10万対は、224.7と、全県(253.2)、国(251.7)と比較して下回っている。また、看護師・准看護師数(人口10万対)は、1,068.9であり、全県(922.8)と比較して高いが、病院の規模や機能等の問題により看護師の確保が困難な病院もある。	○県では、医師確保対策として養成医師の増員、後期研修修了医等県採用制度等に取り組んでいる。今後は、配置可能医師数の増加が見込まれることから、当圏域への配置医師数の増加を図る。 ○広域行政を担う県が、関係行政機関等との情報共有、連絡・調整を緊密に図り、不足する医師の充足に努める。 ○医療従事者にとって暮らしてみたいまち、魅力ある職場環境を創出する。 ○圏域内で看護教育を行っている大学や専門学校及び医療・福祉機関、関係行政機関との間で看護師確保に関する連携体制を構築する。 ○県看護協会北播支部が開催する看護職合同説明会について、県及び市町が積極的に支援し、看護師確保に努める。

○市町や関係団体等が、継続的に自殺対策に取り組めるよう、連携を図りながら地域に応じた自殺対策の取り組みを推進する。(県、市町、関係団体等)

(3) 認知症対策の推進

○認知症についての正しい知識の普及啓発を図り、認知症予防に向けた取り組みを進めるとともに、早期発見・早期診断・早期治療・早期支援等を推進する。(県、市町、学校、関係団体等、県民)

○認知症疾患医療センターである西脇市立西脇病院を中心に、かかりつけ医や認知症相談医療機関、認知症対応医療機関及び市町による認知症相談センター等の連携強化を図る。(県、市町、医師会、認知症疾患医療センター、医療機関等)

○認知症の人やその家族が住みなれた地域で安心して生活することが出来るよう、人材の育成や地域の交流基盤の整備を推進する。(県、市町、学校、医師会、医療機関、関係団体等、県民)

5 在宅医療

現状と課題

(1) 訪問診療の増加見込み

訪問診療見込み量は、高齢化の進展や地域医療構想において「地域完結型医療」の構築を目指していることから、大きく増加し、当圏域では約 1.2 倍に増加する見込みである。

【訪問診療将来見込み】：表 27 (人)

	2017推計	2025推計	増加率
兵庫県	36,812	51,741	140.1%
北播磨	1,192	1,441	120.9%

(2) 訪問診療の提供状況

当圏域の医療保険等による在宅サービスを実施している病院は 14 か所(64%)であり、診療所は 99 か所(49%)である。

【医療保険等による在宅サービスの実施状況】：表 28

		医療保険等による在宅サービスを実施している									
		施設数(ヶ所)		在宅患者訪問診療				往診		在宅看取り	
				うち在宅療養支援型							
		うち在宅療養支援型	施設数(ヶ所)	実施件数(件/月)	施設数(ヶ所)	実施件数(件/月)	施設数(ヶ所)	実施件数(件/月)	施設数(ヶ所)	実施件数(件/月)	
兵庫県	病院	220(62%)	47	113	4,170	45	2,569	77	535	22	41
	診療所	2,319(47%)	769	1,264	43,197	655	36,946	1,451	9,839	280	475
北播磨	病院	14(64%)	4	7	338	4	277	4	18	0	0
	診療所	99(49%)	41	59	1,452	36	1,250	64	445	17	29

資料：医療施設調査調べ（H26.9月中）

当圏域の在宅療養支援歯科診療所は 33 か所であり、在宅患者訪問薬剤管理指導薬局は 123 か所である。また、24 時間対応訪問看護ステーションは 24 か所であり、そのうち機能強化型訪問看護ステーションは 1 か所である。

第2部 各圏域の計画

4 北播磨圏域

【在宅医療提供状況】：表29 (ヶ所)

在宅療養支援診療所・病院	46
地域医療ケア病床を有する病院	9
在宅後方支援病院	0
*地域医療支援病院	2
在宅療養支援歯科診療所	33
在宅患者訪問薬剤管理指導薬局	123
24時間対応訪問看護ステーション	24
機能強化型訪問看護ステーション	1

資料：H29.4施設基準等届出状況（近畿厚生局）

*地域医療支援病院認定数（H29.10月時点）

今後、訪問診療の需要の増加が見込まれることから、訪問診療を行う診療所等を増やす必要があるが、集落が点在している当圏域では、移行時間が長くなる等、かかりつけ医にとって大きな負担となっている。

また、圏域外に在住する医師も多く、夜間の対応が難しい。

(3) かかりつけ医の普及定着

「美しい兵庫指標」「ひょうごのゆたかさ指標」県民アンケート調査によると、かかりつけ医のいる人の割合は、経年的に増加してきており、平成29年では77.2%となっている。

【かかりつけ医のいる人の割合】：表30

	平成15年	平成18年	平成21年	平成24年	平成27年	平成29年
兵庫県	63.4%	60.2%	60.9%	65.1%	67.0%	73.5%
北播磨	65.6%	65.0%	57.0%	66.3%	71.9%	77.2%

資料：「美しい兵庫指標」「ひょうごのゆたかさ指標」県民アンケート調査

(4) 看取りの状況

人口動態統計によると、平成28年の在宅看取り率は23.0%で、全県（25.3%）と比較して低い状況である。

【在宅看取り率】：表31

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
兵庫県	21.8%	23.7%	24.2%	24.7%	24.9%	25.3%
北播磨	21.3%	23.0%	22.3%	22.0%	23.0%	23.0%

資料：厚生労働省「人口動態統計」

推進方策

(1) かかりつけ医の支援体制の確立

○訪問診療を充実・強化するため、かかりつけ医の支援体制を確立するとともに、地域住民に対して、かかりつけ医を持つことの意義など、在宅医療についての理解の促進を図る。（県、市町、医師会、医療機関、関係団体等、県民）

(2) 訪問診療等在宅医療、介護サービス提供体制の充実

○在宅医療、介護について、サービス提供体制の充実を図るとともに、多職種連携による在宅医療介護体制の構築を推進する。（県、市町、医師会、医療機関、関係団体等）

○今後、増加する医療・介護需要の提供に必要な訪問診療・訪問歯科診療・訪問看護等の医療従事者及び福祉、介護人材の確保に努めるとともに、在宅医療に関わる多職種の医療福祉従事者に対する専門研修の充実を図り、在宅医療に積極的に取り組む人材の育成を促進する。(県、市町、医師会、医療機関、関係団体等)

○医師会、病院、在宅医療実施医療機関、居宅介護支援事業所、学識経験者、関係行政機関等により、当圏域での訪問診療に関する効率的な実施方法や支援体制のあり方等について検討していく。(県、市町、医師会、医療機関、関係団体等)

○在宅医療、介護に関わる介護職や介護支援専門員に対して、口腔ケアの意識や技術の向上を図るとともに、退院後も継続した誤嚥性肺炎の予防を推進する。(県、市町、歯科医師会、関係団体等)

(3) 入院から在宅への入退院支援

○当圏域内での連携強化と円滑な入退院支援を目指して作成した「北播磨圏域要介護者における入退院支援の手引き」の活用を図り、入退院時における医療と介護の円滑な連携を促進する。(県、市町、医師会、医療機関、関係団体等)

(4) 在宅の看取りについて

○住み慣れた自宅や介護施設等、本人が望む場所での看取りを行うことができるよう、支援体制を整備するとともに、在宅看取りに関わる医療福祉従事者の研修の充実を図る。また、地域住民に対して、在宅の看取りについて理解の促進を図る。(県、市町、医師会、医療機関、関係団体等、県民)

6 地域医療連携

現状と課題

(1) ICTを活用した在宅医療・介護の情報の共有化

当圏域では、北播磨地域の病院、診療所等が一体となり医療機能・役割を分担し、相互連携を強化するとともに、急性期から回復期、在宅復帰までの切れ目のない患者本位のサービス提供を目指し、医療機関が保有している診療情報を共有するシステム「北はりま絆ネット」の構築、運用を行っている。

【北はりま絆ネットの運営状況】 : 表 32

情報公開施設	9 施設	西脇市立西脇病院、市立加西病院、加東市民病院、大山病院、北播磨総合医療センター、多可赤十字病院、服部病院、三木山陽病院、兵庫あおの病院
情報閲覧施設	101 施設	病院：18 施設 (情報公開病院含む) 診療所：77 施設 老人保健施設：6 施設
連携患者数	1,504 人	

(平成 29 年 12 月末現在)

第3部 計画の推進と進行管理

第3章 計画の進行管理

第3章 計画の進行管理

本計画に定める施策は、PDCA（計画→実行→評価→改善）のサイクルに基づいた着実な推進を図る。

そのため、各分野に数値目標を設定し、達成状況を原則として毎年度把握して、医療審議会保健医療計画部会において、推進方策の内容や実施方法の妥当性を検証する。そのうえで、課題を抽出し、施策の内容・方法の見直しを行うなど、その進行管理に的確に取り組む。

また、数値目標のほかに、各分野の医療体制・施策効果等に関する全国統計から得られる指標を用いて、本計画の進捗を客観的に評価することとする。

全県の数値目標一覧

部	章	項目	数値目標
保健医療提供体制の基盤整備	保健医療・介護従事者	看護職員	○看護職員数(保健師・助産師含む)(常勤換算数) 57,691人(2016(H28)) → 60,421~63,937人(2023) ○特定行為研修を修了した看護師数(延人数) 182人(2017(H29)) → 884人(2023)
		保健師	○保健師数(常勤換算数) 1,528人(2016(H28)) → 1,818人(2023)
		助産師	○助産師数(常勤換算数) 1,299人(2016(H28)) → 1,748人(2023)
		音楽療法士・園芸療法士	○兵庫県音楽療法士の認定者数 365名(2016(H28)) → 505名(2023) ○兵庫県園芸療法士の認定者数 189名(2017(H29)) → 279名(2023)
	地域連携体制の構築	地域医療連携体制の構築	○地域医療支援病院を確保する圏域数 7圏域(2018(H30)) → 8圏域(全圏域)(2023)
5疾病5事業連携体制の構築 在宅医療の医療連	救急医療		○救急医療電話相談(＃7119)の実施市町 神戸市(2017(H29)) → 県全域(2023)
	小児医療(小児救急を含む)		○小児救急電話相談時間(＃8000) 24時まで(2017(H29)) → 翌朝8時まで(2018(H30)) ○小児向け在宅医療関係研修会等の実施数 2回(2016(H28)) → 3回以上(2023)
	災害医療		○災害拠点病院の業務継続計画の策定率 33.3%(2016(H28)) → 100%(2019(H31)) ○統括DMATの災害拠点病院への配置 14箇所(2017(H29)) → 18箇所(2023) ○EMISの入力訓練回数 年32回(2016(H28)) → 年35回以上(2023)

第3部 計画の推進と進行管理
第3章 計画の進行管理

部	章	項目	数値目標
5 疾病・5事業及び在宅医療の医療連携体制		精神疾患対策	○3ヶ月未満入院患者数 2,024人(2016(H28))→2,164人(2020) ○3ヶ月以上1年未満入院患者数 1,583人(2016(H28))→1,730人(2020) ○1年以上入院患者数 (65歳以上) 3,762人(2016(H28))→3,535人(2020) (65歳未満) 3,112人(2016(H28))→2,488人(2020) ○地域移行に伴う基盤整備量 (65歳以上) — →718人(2020) (65歳未満) — →649人(2020) ○早期退院率 (3ヶ月時点) 52.8%(2016(H28))→69.0%(2020) (6ヶ月時点) 81.0%(2016(H28))→84.0%(2020) (1年時点) 89.3%(2016(H28))→90.0%(2020) ○保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置 10圏域(2016(H28))→全ての障害保健福祉圏域(2020) ○年間自殺者数 942人(2016(H28))→800人以下(2022)
		在宅医療	○訪問診療を実施している病院・診療所数 1,688箇所(2016(H28)) ○在宅療養支援病院・診療所数 912箇所(2017(H29).4) ○在宅療養歯科診療所数 573箇所(2017(H29).4) ○24時間対応体制加算の届出訪問看護ステーション数 495箇所(2017(H29).4) → 対2017比 115%(2020) 130%(2023) 140%(2025) ○機能強化型訪問看護ステーションを有する圏域の数 在宅医療圏域18圏域(2017(H29))→全40圏域(2023) ○退院支援加算の届出病院・診療所数 215箇所(2017(H29).4) →訪問診療需要の増加比率に応じた箇所数等の増加 ○地域包括ケア病床を有する圏域の数 在宅医療圏域36圏域(2017(H29))→全40圏域(2023) ○かかりつけ医のいる人の割合 73.5%(2017(H29)) → 80%(2023) ○在宅看取り率の増加 25.3%(2016(H28))→27%(2023)

平成28年末兵庫県内看護師等業務従事者届の集計
【修正版】

- 1 保健所別就業場所別看護職員就業者数
- 2 市町別看護職員就業者数
- 3 圏域別看護職種別就業場所別就業者数
- 4 就業場所別看護職員就業者数、年次別看護職員就業者数

<参考>

兵庫県ナースセンターの周知、利用について

(職種別、圏域別、年齢別)

兵庫県健康福祉部健康局医務課

平成29年8月24日修正

3. 圏域別看護職種別就業場所別就業者数

平成29年8月24日修正
平成28年12月31日現在

圏域	平成28年							平成18年			H18～H28 増加率	
	総数	%				人口10万人 対就業者数	H28.12末 現在人口	就業 者数	人口10万人 対就業者数	H18.12末 現在人口		
			病院	診療所	その他							
神戸		18,659	100.0%	12,631	2,964	3,064	1215.4	1,535,161	14,521	949.2	1,529,867	128.5
	保	401	2.1%	20	34	347	26.1		279	18.2		143.7
	助	484	2.6%	312	75	97	31.5		356	23.3		136.0
	看	15,378	82.4%	11,341	1,963	2,074	1001.7		10,689	698.7		143.9
	准	2,396	12.8%	958	892	546	156.1		3,197	209.0		74.9
阪神南		10,889	100.0%	7,200	2,007	1,682	1051.8	1,035,227	7,396	720.1	1,027,108	147.2
	保	273	2.5%	4	2	267	26.4		146	14.2		187.0
	助	282	2.6%	184	78	20	27.2		182	17.7		154.9
	看	8,682	79.7%	6,422	1,173	1,087	838.7		5,143	500.7		168.8
	准	1,652	15.2%	590	754	308	159.6		1,925	187.4		85.8
阪神北		7,669	100.0%	4,891	1,297	1,481	1063.4	721,194	5,918	826.8	715,753	129.6
	保	187	2.4%	7	0	180	25.9		109	15.2		171.6
	助	154	2.0%	96	42	16	21.4		126	17.6		122.2
	看	6,081	79.3%	4,214	860	1,007	843.2		4,078	569.7		149.1
	准	1,247	16.3%	574	395	278	172.9		1,605	224.2		77.7
東播磨		8,009	100.0%	5,251	1,477	1,281	1119.4	715,468	6,283	874.9	718,149	127.5
	保	228	2.8%	5	7	216	31.9		164	22.8		139.0
	助	152	1.9%	112	22	18	21.2		87	12.1		174.7
	看	6,048	75.5%	4,508	787	753	845.3		3,983	554.6		151.8
	准	1,581	19.7%	626	661	294	221.0		2,049	285.3		77.2
北播磨		3,814	100.0%	2,586	440	788	1408.2	270,838	3,047	1051.6	289,736	125.2
	保	111	2.9%	1	0	110	41.0		113	39.0		98.2
	助	68	1.8%	42	17	9	25.1		30	10.4		226.7
	看	2,895	75.9%	2,178	247	470	1068.9		1,997	689.2		145.0
	准	740	19.4%	365	176	199	273.2		907	313.0		81.6
中播磨		7,422	100.0%	4,728	1,291	1,403	1285.9	577,189	5,728	981.1	583,837	129.6
	保	133	1.8%	4	5	124	23.0		99	17.0		134.3
	助	162	2.2%	104	42	16	28.1		89	15.2		182.0
	看	5,788	78.0%	4,133	756	899	1002.8		3,938	674.5		147.0
	准	1,339	18.0%	487	488	364	232.0		1,602	274.4		83.6
西播磨		3,058	100.0%	1,758	440	860	1189.6	257,051	2,837	1016.7	279,032	107.8
	保	118	3.9%	1	0	117	45.9		102	36.6		115.7
	助	30	1.0%	24	0	6	11.7		23	8.2		130.4
	看	2,092	68.4%	1,377	247	468	813.8		1,676	600.6		124.8
	准	818	26.7%	356	193	269	318.2		1,036	371.3		79.0
但馬		2,362	100.0%	1,316	356	690	1410.5	167,459	2,138	1130.6	189,105	110.5
	保	103	4.4%	0	0	103	61.5		99	52.4		104.0
	助	53	2.2%	46	0	7	31.6		44	23.3		120.5
	看	1,799	76.2%	1,142	238	419	1074.3		1,492	789.0		120.6
	准	407	17.2%	128	118	161	243.0		503	266.0		80.9
丹波		1,232	100.0%	774	178	280	1174.5	104,895	1,099	958.2	114,699	112.1
	保	54	4.4%	5	0	49	51.5		53	46.2		101.9
	助	22	1.8%	19	2	1	21.0		21	18.3		104.8
	看	871	70.7%	620	92	159	830.4		655	571.1		133.0
	准	285	23.1%	130	84	71	271.7		370	322.6		77.0
淡路		1,943	100.0%	1,187	287	469	1458.6	133,212	1,683	1127.6	149,254	115.4
	保	71	3.7%	1	0	70	53.3		72	48.2		98.6
	助	39	2.0%	28	2	9	29.3		21	14.1		185.7
	看	1,282	66.0%	930	116	236	962.4		896	600.3		143.1
	准	551	28.4%	228	169	154	413.6		694	465.0		79.4
合計		65,057	100.0%	42,322	10,737	11,998	1179.1	5,517,694	50,650	905.0	5,596,540	128.4
	保	1,679	2.6%	48	48	1,583	30.4		1,236	22.1		135.8
	助	1,446	2.2%	967	280	199	26.2		979	17.5		147.7
	看	50,916	78.3%	36,865	6,479	7,572	922.8		34,547	617.3		147.4
	准	11,016	16.9%	4,442	3,930	2,644	199.6		13,888	248.2		79.3

※保＝保健師、助＝助産師、看＝看護師、准＝准看護師

■加東市民病院における看護師新規採用状況

採用年度	採用人数(人)	播磨看護専門学校 卒業生の採用数	播磨看護専門学校卒 業生がしめる割合(%)
平成21	3	3	100
平成22	8	7	87.5
平成23	10	6	60
平成24	8	6	75
平成25	3	3	100
平成26	5	4	80
平成27	5	5	100
平成28	9	3	33.3
平成29	3	3	100
平成30	5	5	100
平成31	4	4	100
計	63	49	77.8

2019年(令和元年)7月13日 土曜日

不申

戸

新

星

小野市提案の医療専門学校

9月末まで持ち越し

調整会議で結論出ず

西脇、加西、加東市と多可町の3市1町でつくる「播磨内陸医療事業組合」が運営する播磨看護専門学校(加東市家原)についての調整会議が12日、同校で開かれた。同校を巡っては、小野市が廃止した上で、市内に誘致を目指す民間医療系専門学校への教職員移管を提案。三木、小野市を加えた5市1町が話し合ったが議論は深まらず、結論を9月末に持ち越した。

この日は、北播磨全域での看護師確保もテーマになり、看護師を養成する関西国際大がある三木市の仲田一彦市長も参加。調整役として北播磨県民局の西川嘉彦副局長も出席した。

同校卒業生(2018年)

の看護師としての就職先は

西脇市11人▽加東市5人▽

加西市1人▽多可町0人。

3市1町が分担する学校の運営費約9千万円につい

獅子銀 道の駅
0795472888
とうじよう店

て、組合管理者の安田正義・加東市長は「看護師を養成するのに大きな負担になっている」と指摘した。小野市の蓬萊務市長は「官が全て担う時代なのか」と疑問を投げ掛けた。

3市1町の首長は今後、

電子版「神戸新聞NEXT(ネクスト)」の紙面ビューワーでは全地域版がご覧になれます。

神戸新聞

公立や赤十字病院の病院長のほか、進出を希望する学校法人の担当者から話を聞くなどして結論を出すという。
(笠原次郎)